



柔道によるけがを防ごう！

平成13年度から22年度(10年間)に、災害共済給付制度で給付した学校の管理下の柔道での事故は、授業中の死亡が3件、障害は29件ありました。部活動時では、死亡が25件、障害が67件となっています。

この中で、授業中の柔道の事故を死因別、障害種別、行動別に分析したものが下のとおりです(今回は、授業に特化しました)。

死亡

★死因別

死因	件数
突心臓系	2件
突大血管系	1件

★行動別

行動	件数
練習中	1件
寝技(固め技)	1件
ストレッチ	1件

障害

★障害種別

障害種別	件数
上肢切断・機能障害	11件
精神・神経障害	8件
視力・眼球運動障害	3件
胸腹部臓器障害	3件
聴力障害	2件
外貌・露出部分の醜状障害	1件
下肢切断・機能障害	1件

★行動別

行動別	件数
投げ技	16件
寝技(固め技)	6件
受身の練習	3件
ふざける	2件
倒れる	1件
踏まれる	1件

※授業中の柔道の事例件数には、特別活動や学校行事の事例も含まれています。





柔道によるけがを防ごう！



下記は授業中の柔道による事故事例です。死亡は、練習中に突然死になるケースが多く、障害では、投げ技の際に受け身を失敗し、不自然な形で手をつく、頭や首を負傷するなどの事例が多く見受けられます。

★死亡事例

被災学校種	被災学年	性別	死亡種別	災害発生の状況
高等学校	2年	男	突心臓系	体育の時間に、前半およそ30分、格技場を走り（5～7周）、ストレッチ（15秒×15セット）、回転運動、寝技の攻防（30秒×2）をした後、試合（本人は60kg以上のBグループ）を行った。本生徒は、他の生徒からかけられた大外刈りを返し、相手に乗りかかるように倒れ、一本を取った。そのまま試合を終えて礼をした後、突然倒れ意識を失った。
高等学校	2年	男	突心臓系	柔道の授業中、相手生徒に足技で腰から倒され、横四方固めで押さえ込まれた際、数秒間抜け出そうとしたが、そのまま動かなくなった。救急車を要請し、医療機関に搬送されたが、約1時間40分後に死亡した。
中学校	3年	男	突大血管系	本校武道場にて体育の授業で準備運動をして、ストレッチを行っている最中、身体を後ろに反らせた時、そのまま崩れるように後ろに倒れた。直ちにそばにいた体育教諭が様子を確認し、救急車を要請した。同時に養護教諭らがAEDを使って心肺蘇生法を施し、病院へ搬送したが死亡した。

★障害事例

被災学校種	被災学年	性別	障害種別	災害発生の状況
高等学校	2年	男	上肢切断・機能障害	体育の柔道時間中に、本生徒は、背負い投げをされそうになったが、相手が投げるのに十分な体勢が取れておらず上体が崩れた。その際、背中から滑り落ちるように畳に落ちた。右腕を最初についてしまい、肘に衝撃を受けて負傷した。
高等学校	2年	男	精神・神経障害	本生徒は相手に対し、強引に内股を仕掛けたが、不十分な体勢から投げを打ったため、相手が本人に乗りかかる形になり、前にのめり込むように頭から崩れた。
高等学校	3年	男	精神・神経障害	体育授業中、柔道を行っていた際、準備体操、補強運動、受身が終わり、寝技を行っていたところ、相手に十字絞めで絞められ、一瞬、気絶した。